

# TTの導入で

## より高まりのある活動を！

釧路市立萱野小学校 片野 美紀子

「～しているのかな」ではなく「～したい！」という声がストレートに上がる生活科が望めます。

できるだけそういった個の思いに応えるため、また、よりきめ細かい支援ができるようにTTを取り入れて、課題や興味ごとにグループを組んで活動を進めています。「公園へ行こう」でも課題を追求する活動（公園での活動）と表現活動でそれぞれグループを組んでTTを導入して行きました。

### TT①…公園の活動で

むしをいっぱいあつめるよ。

タイヤぶらんこでいっぱいあそぶぞ！はやくのりりたいな。

こうえんには、どんなものがあるのかな？しらべるよ。

どんなはながさいているのかしらべるよ。

こうえんに、どんなひとがくるのかな？あかちゃんもくるのかな？いっしょにあそびたいな。



### TT②…表現活動で



活動や体験のなかで発見したことや気付いたこと、さらには、次の活動への思いは、そのままにしておいたり束ねてしまうと消えてしまいます。TTの導入により、子ども一人一人が自分の課題に合った活動や自分なりの方法で豊かに表現することができ、それぞれの表現のよさや友だちのよさに気付き、曖昧な気付きも確かなものとなっていきます。